

シンポジウム

排外主義・軍事化と いかに闘うか

2025 年 **11 月 23 日** (日) 午後 1 時～4 時

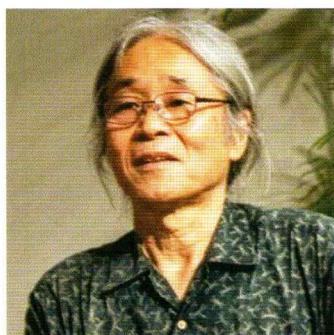
※受付開始 12 時半

キャンパスプラザ京都 第 3 講義室

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR 各線「京都駅」下車。駅の北側を西へ徒歩 5 分。

7 月の参議院選挙では、各党が「違法外国人ゼロ」「外国人優遇策の見直し」などの排外主義政策を競い合い、「日本人ファースト」を掲げる政党が躍進しました。このままでは外国人差別が強化され、共生社会が破壊され、戦争への地ならしが進んでしまうことに、日本に在住する外国籍の人々は深い不安を覚えています。なぜ、いま、日本社会で外国人排斥・排外主義の言説が広がっているのか。これとどう向き、どう行動すべきか。右傾化する政治状況に立ち向かい続ける 3 人の研究者をお迎えしてシンポジウムを開催します。

● パネリスト紹介



鵜飼 哲さん

うかい・さとし 一橋大学名誉教授。フランス文学・思想。ガザ侵攻の即時停戦を訴えて 2023 年に発足した「中東研究者有志」など、さまざまな運動・声明を呼びかけている。



駒込 武さん

こまごめ・たけし 京都大学大学院教育研究科教授。日本における排外主義的ナショナリズム、レイシズムを批判する立場から、日本植民地統治下の台湾史を研究。



木戸 衛一さん

きど・えいいち 大阪大学招へい教授。ドイツにおける極右勢力の台頭と政治エリートのカルト的な「反・反ユダヤ主義」の問題に取り組む。

主催：反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

連絡先 090・3267・4278 (新開)